

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2406 号

橋田邦彦の「医」の思想と澤瀉久敬の「医学の哲学」—昭和前期の医療倫理教育に関する予備的考察—

(Hashida Kunihiko' s Concept of "Medicine" and Omodaka Hisayuki' s "Philosophy of Medicine" : A Preliminary Study of the History of Medical Ethics Education in Early Showa-era of Japan)

勝井 恵子 (かつい けいこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、昭和前期の医療倫理教育に関する史的研究として、生理学者・橋田邦彦の「医」の思想とその教育と、哲学者・澤瀉久敬の「医学の哲学」および講義「医学概論」について検討を行ったものであり、医史的に非常に意義がある。

我が国における 1970 年代のバイオエシックス誕生の前史に関する研究は蓄積がなく、当然我が国の医療倫理教育の史的考察も殆ど着手されていない。その中で本論文は、橋田の「医」の思想とその教育、そして澤瀉の「医学の哲学」と講義「医学概論」の内実を、緻密な文献研究を通じて明らかにしている。医学・医術・医道が三位一体となることで医療が成立するという言説は洋の東西を問わず一般的である。しかし、その三つがそれぞれ如何なるものであり、如何にして関連し合うのかという点は従来論じられて来なかった。勝井氏は、橋田と澤瀉が医学・医術・医道というものに対して如何なる思考を持ち、それぞれの医学思想を形成したのかについて詳述するとともに、それらを両者がどのように医学生へと伝えようとしたのかに関する詳述に成功している。

以上のことから、本論文は我が国の医療倫理教育の史的研究の第一歩として高く評価される。よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。